

「当院に入院した間質性肺炎入院患者の COVID-19 流行前後の予後についての検討」について

加古川中央市民病院呼吸器内科では、現在、当院呼吸器内科にて間質性肺炎に対する化学治療をおこなった患者さんを対象に、表題の研究を実施しております。その詳細は下記の通りです。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

COVID-19 流行以前と比べて、間質性肺炎の予後（死亡率、転院率）がどう変化したのか調査することが目的です。そこで、COVID-19 流行前の 2020 年 3 月までを A 期、5 類感染症に移行直前の 2023 年 4 月までを B 期、移行後の 2023 年 5 月以降を C 期として、患者背景、予後、転帰について比較検討します。なお、例年新しい薬剤が多く発売され、それに伴う薬剤性肺炎が増加していることが結果に影響を与えると考えられるため、薬剤性肺炎と診断された患者さんは除外することとします。

【研究期間】

この研究は病院長承認日～2025年3月31日まで行う予定です。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

年齢、性別、間質性肺炎の種類、基礎疾患、COVID-19 罹患の有無、投薬内容、人工呼吸器管理の有無、HOT 導入の有無、転帰

【個人情報保護の方法】

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して、研究対象者識別番号リストを作成し、匿名化を行い秘密保護に十分配慮します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 呼吸器内科 研究責任者：西馬 照明

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究の参加を辞退または同意撤回の申し出があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降には患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消された時点ですでに研究結果が論文などで公表されている場合は廃棄できません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 呼吸器内科
研究責任者名 西馬 照明
連絡先：079-451-5500